

議 会 だ よ り

うれひの



一般会計補正予算
討論
一般質問
委員会レポート

P2

P4

P8

P18

平成26年第4回定例会

平成26年第4回定例会が、12月5日に召集され、12月18日までの14日間の日程で開催されました。

26年度一般会計補正予算をはじめ7つの特別会計の補正予算8件、嬉野市営浄化槽条例や議員発議による議決事件に該当しない契約についての報告に関する条例など新たな条例制定7件、条例の一部改正が7件、指定管理者の指定3件、人事案件4件など全部で32の議案を慎重に審議し、全議案が可決されました。賛否表は（P7）

新しく変わります
(子ども子育て支援新制度)



▲少子化の歯止めを期待

現在少子化がすすみ国においてもいろいろな対策が立てられています。今回、子育て世代の負担を減らすために「子ども・子育て支援法」が制定され、早ければ平成27年4月から子ども子育て

支援法がスタートする予定です。

このことを受け嬉野市では「嬉野市家庭保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」「嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育

事業の運営に関する基準を定める条例」「嬉野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」が制定されました。

この支援法を進めていくための財源には消費税の引き上げによる増収見込みの7000億円が必要とされていましたが今回消費税率の引き上げ時期が延長されたことにより、財源のめどが立たなくなり自治体の間に支援法の実効性について混乱が生じています。

そこで国は財源の問題など自治体に対して早急に対応すべきと考えます。

合併浄化槽を市が設置
(市営浄化槽条例)

公共下水道事業、農業集落排水事業区域以外の未処理区域については、審議会の答申を受けて、事業の検討をおこない、またアンケート調査を実施しました。

今回の条例制定で、市が設置・管理する市営浄化槽事業（個別に合併浄化槽を設置する）を実施することになりました。

- 1、対象区域は集合処理計画区域に入っていない地区で、吉田地区・久間地区・大草野地区その他一部地区も含まれます。
- 2、今回の事業計画期間は平成27年度から平成36年度までの10年間。
- 3、整備基数は約1100基
- 4、総事業費は11億9000万円。
- 5、個人で設置している既設の合併浄化槽は

申請により市の管理にすることもできます。

これにより、市内全域の生活排水処理の整備が完了すれば、生活環境および水質保全に役立つこととなります。

議会審議にあたり、分担金が高いのではないかと、民家が密集している所は共同処理ができないかなど、また実施期間の短縮を求める意見がありました。

今後、早い時期に地元説明会を開催する予定です。



材料検収
小型合併処理浄化槽
フジクリーン
CFII-10



材料検収
小型合併処理浄化槽
フジクリーン
CFII-10



設置完了
小型合併処理浄化槽
フジクリーン
CFII-10

▲水質保全のために水洗化へ

県内で初めて条例を制定 (130万円以上の請負契約の報告を義務化)



▲契約のさらなる透明化に向けて

今議会において「議決事件に該当しない契約についての報告に関する条例」を県内では初めて制定しました。

現在、市が発注する予定価格が1億5000万円以上の工事については、議会の議決が必要となっていますが、予定価格がそれ未満の工事については何の規定もありません。

そこで今回、議会の検査機能の充実をはかるとともに、契約の透明性を高め、契約事務の適正な執行に資することを目的に、予定価格が130万円以上の工事についての請負契約を議会に対し報

告することを執行部に對して義務化しました。

このことにより執行部には、より公正な契約に對する姿勢を求めるとともに、議会としては契約結果に問題などがみられる場合、全員協議会の場で対応を話し合い、議会として市長に意見を述べることができるようになります。

他の自治体でみられるような不正入札などが、嬉野市においては発生しないよう、議会としてもチェック機能のさらなる充実をはからなければなりません。

より開かれた嬉野市へ (情報公開条例)

今回、情報公開請求制限を撤廃する目的で条例の全面改正をおこなうことになりました。

これは全国的な制度の問題点（権利濫用請求、営利目的利用、大量請求）が明らかになり、またオンブズマンの公開調査でも県内で低いランクに位置付けられたことが大きな要因です。

今回の大きな改正点として、市の説明責任を明記し、市民などに限定していた請求者の制限を原則撤廃し、出資法人の情報公開にも努める規定を設けました。また請求がなくても行政側から公開していく姿勢です。

一方で情報公開請求の権利を濫用した請求や同時期に大量の請求が集中した場合の対応も規定し、他の行政サービスに著しい支障がないよう工夫されています。

は市に對し、積極的な情報公開をしていくとともに、研修などにより職員意識改革がさらに向上するように求めます。

今回追加補正として、うれしの茶交流館建設事業の基本設計業務および実施設計業務に1500万円を予算化しました。

嬉野市の基幹産業であるお茶において、先人の努力と技術改良の歴史を後世に伝えるべく、資料の保存と展示、併せておいしいお茶の淹れ方や茶染め体験を通して、市民をはじめ、観光客へのお茶の消費拡大や販売促進につなげていくことが目的です。

建設地は、現在ある嬉野市茶業研修施設「嬉茶楽館」近隣で、屋外スペース、駐車場含む約

9,000㎡の土地を購入し、館内には、展示、喫茶、体験、茶販売など各コーナーを設ける予定です。

ただ、市街地から離れており、場所がわかりづらく、ロケーションが悪いななどの問題点が議会からは指摘されました。

今後は運営ビジョンが重要であり、いわゆるハコモノと呼ばれるものにならないよう、議会としては注視していくとともに、今後この事業が嬉野茶の消費拡大および大切な観光資源となるよう期待しています。

茶の歴史を後世に伝えるために (うれしの茶交流館建設事業)



▲交流館建設予定地



反 対

「うれしの茶交流館」の建設場所は当初予定地に

山下 芳郎 議員

「うれしの茶交流館」は主産業の嬉野茶のPRの場として茶業関係者また観光促進にも多いに寄与することは理解し、賛成する。

道沿いの倉庫の契約を進めるべきである。

しかし今回の提案の場所は嬉茶楽館及び倉庫の裏に9反の農地の購入計画である。国道からの交通アクセスが不便で見通しが悪く進入口も川沿いの一カ所でわかりにくい。市民及び観光客利用の施設であるが完成後の誘客が見込めず、多額の予算を投入しての効果が薄い。

今回の建設場所の変更はダブルスタンダードの交渉であって無駄である。当初予定地であった市



反 対

建設予定地の再検討を望む

増田 朝子 議員

うれしの茶交流館建設事業において実施設計業務及び基本設計業務について、①嬉茶楽館と、用地交渉のできていないJ A倉庫の裏側で入り口も狭く建設予定地の問題がある。②建設費に3億円以上の予算が計画されているが、十分な計画がないまま工事に取り掛かり、のちに追加工事に補正予算が必要になるのではないか。③嬉茶楽館工場の年間稼働率も低く、関連性も明確に見えず、併設の意味があるのかと思われる。

このような建物は使ってもらい、利用してもらってこそ価値があり、開館後も多額な維持費が

必要になる。嬉野市が市民や観光客への嬉野茶消費拡大や販売促進につなげていこうと思う熱意を感じられない。以上のことで、建設予定地の再検討を望み、この議案に反対します。



反 対

「うれしの交流館建設事業」

芦塚 典子 議員

うれしの茶交流館建設事業は、茶の歴史と製茶技術の伝承により販売促進と市民や観光客にお茶の体験を通して嬉野茶の広報、消費拡大に寄与する施設として建設予定である。

事業計画でなければならぬ。再度熟考すべきである。

今の厳しい環境の中で、茶産業が生き残れる施策であることが必要であるが、建設予定地の立地も悪く今後の活用が期待できない。

観光客誘致に対する市独自の施策が見えない。茶産業の推進には、行政の周到な調査計画立案が必要であり、ハコモノ建設においては、費用対効果が期待される計画、市民に満足度が得られる



賛成

修正案を出すべき

山口 要議員

今回の補正予算に反対する中で、うれしの茶交流館建設事業のみを取り上げて討論されているが、その問題については、議案質疑の中で、私が指摘をした通りである。

ただ、この一つの予算のみを捉えて、補正予算全部を否定するということになる、他の予算に影響を及ぼすことが大きい。手法としては、この予算を予備費に回して修正予算とするやり方もあったはずだ。

このような「木を見て森を見ず」という近視眼的な考え方はおかしい。よって予算に懸念するところはあつたものの、全体をみて賛成とする。



賛成

建設委員会の協議内容を尊重すべき

田中 政司議員

うれしの茶交流館建設事業の予算を含む一般会計補正予算について、賛成の立場で討論をおこなう。

うれしの茶交流館建設事業については、合併前より嬉野茶のブランド力向上と消費拡大のための施設として、一体的な考えの中で進行してきた。

その目的のために、どこにどのような施設でどのような内容のものを建設すればよいかを検討するため、建設委員会が立ち上がり、協議がなされてきた。

その協議内容の中で、市内数カ所の中より今回の場所が設定されたわけでその協議内容を十分に

尊重するべきである。

その施設が、嬉野茶振興のための有効な施設になりうると考え、うれしの茶交流館建設事業を含む一般会計補正予算に賛成する。



賛成

全体的予算を優先すべき

梶原 睦也議員

うれしの茶交流館設計業務委託料に関しては、建設予定地の課題等があるのは理解するものの、本議案は補正予算の性格上緊急を要する予算が計上されている。

特に本予算で大きな割合を占めている民生関連予算の執行についてはその影響も大であり早期の予算成立が必要と判断し本議案に賛成する。

一部設置条例の 一部改正について



反 対

福祉部門は両庁舎を 充実すべき

山口 政人 議員

今回の改正について、全面的には否定しないが、現在、塩田庁舎にある高齢者福祉、子育て支援事業を嬉野庁舎に移し、そのため400万円の税金を使うことになる。塩田庁舎前には、保健センター、中央公民館があり空き室がある。

なぜ、嬉野庁舎なのか、これは、住民感情を逆なでし、両町に新たな火種を抱えることになる。福祉部門は、今後、地

域包括ケアシステムを推進していかなければいけないし、重要になってくる、一つの庁舎に統合するのではなく、両庁舎を充実すべきである。

合理化、効率化の視点でなく、住民目線で行政をやるべきだ。

また、職員数が足りないと感じている。

私たちのお願いどうなった 議員とかたろう会の要望にお答え

7月28日から31日まで市内8カ所で開催した「議員とかたろう会」において、市民の皆様方からの質問に対し執行部からの回答を得ましたので掲載いたします。

問 三ヶ崎の幹線水路の法面のコンクリート強化を8年前から要望しているが。

答 経営体基盤整備事業で三ヶ崎線水路は整備してあったため該当していない、法面はできない旨を当時の役員さんには話してある。また、法面をコンクリート化できる事業は現在ない。

問 農集排処理場の排気口の臭気で迷惑している、早急な改善を望む。

答 臭気については、いくつかの検討をおこなってきた、来年度に排気口の排出箇所を変える工事を考えている。

問 杵島山周辺におけるイノシシ対策を。

答 杵島山の国有林内では狩猟およびワナの設置が禁止されている。

国有林外では捕獲用のワナを設置できるので、市役所もしくは猟友会員の方に連絡をしていただき、対応をおこないたい。

問 久間研修センターの修理工事の早期実行と、移転の検討を。

答 雨漏り修繕工事については、多少工期が遅れたが10月7日に終了している。

移転については、平成27年度に「コミュニティ施設整備計画」の中で移転を含め検討する。

問 旧嬉野小学校の跡地の使い道はどうする、また検討の段階で市民の声を聴いてほしい。

答 構想をまとめる際に、嬉野小学校区域コミュニティがおこなった住民アンケートを参照する、ま

た体育協会などの体育系団体や文化連盟などの文化系団体に聞き取りなどをおこなうことにしている。

問 湯宿広場（朝長医院横）の足湯にトイレを設置してほしい。

答 土地が民間からの借地であり、地権者の許可をもらえないので困難である。

またトイレを設置するには土地が狭く困難である、近くの湯遊広場や交流センターなどのトイレを案内している。

問 五代地区の防災無線を撤去されたが、理由説明と再設置を。

答 屋外子局（屋外スピーカー）については、設置基準を設け、公有地を基本に市内50カ所に設置してきた。

以前五代地区に設置していた屋外子局については、この基準に照らして撤去し大草野小学校の南側付近に設置した。

議案の賛否 どう判断した？

議案賛否表

議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		生田健児	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	大島恒典	梶原睦也	田中政司	織田菊男	西村信夫	山口要
議案第79号	嬉野市営浄化槽条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	嬉野市情報公開条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	嬉野市部設置条例の一部を改正する条例について	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	●	●	○
議案第90号	嬉野市一般会計補正予算(8号)	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○	○
発議第12号	議決事件に該当しない契約についての報告に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対



▲ 7月のかたろう会風景

聞こえづらいとの指摘があったので現地を調査したところ、小学校の校舎で阻まれ、五代地区まで届かない状態であることが判明した。
このため五代公民館付近に屋外でも聞き取り可能なスピーカーを設置することにした。用地については、五代地区に提供をお願いしたいと考えている。

問 大草野地区の排水処理事業の早期結論を。
答 大草野地区の今後の方向性としては、すでに合併浄化槽を整備されている割合が3割近くあることと、将来的に人口減少が進むことで、集合処理への接続見込みが低いと考えられる、そこで大草野地区については市営浄化槽事業での計画と考

と問う



山口 危険通学路については迅速な実施が必要と思うがどうか。

市長 危険力所については迅速に対応していきたい。未対策力所も数カ所あるので、計画的に整備していく。

教育長 危険力所は28カ



▲歩道がない通学路

危険通学路の整備対応はどうしているか

山口政人議員

答 計画的に整備していく

所あるが、まだ6カ所が未整備となっている。

山口 久間小学校へ通じる、国道から市道への入り口付近が非常に危険であるが、どうするのか。

建設部長 道路協議で遅れているが、平成27年度に工事完了したい。

行政評価システムについて

山口 行政の仕事については最小の予算で最大の効果を発揮できる行政評価システムを導入する必要があると思うがどうか。

市長 導入する必要があると考えている。

山口 事業について、本

当の意味での評価と改善ができているのか、市民にとって何がもたらされたのか、何ほどの程度よくなったか、人件費を含めたコストの把握が必要である。市民満足度の向上のため早く導入すべきではないか伺う。

市長 行政サービスを低下させないためにも必要であると思うので、早い時期の導入を目指したい。

地方創生について

山口 人口減少や高齢化

に今後、市としてどう取り組んでいくのか伺う。

市長 国の動きに対応するため、市も総合戦略会議を設置しており、若者が安心して住み、結婚し、子どもを生み育てることができるよう嬉野市を目指して、国へ提案をしていきたい。

山口 企業誘致については一つの市町では無理だと思っている。若者の定住のため、久間の工業団地という受け皿を早く整備して、武雄・鹿島との広域連携で全力を尽くすべきだ。

今の時代は一つの自治体で全てを完結するのは難しいと思うがどうか。

市長 そのとおりだと思っている。今後也十分連携をとりながらやっていきたい。

市政



山口 最近の学校は、なぜ学力優先の教育方針なのか。

教育長 知・徳・体のバランスのとれた教育をめざしているが、一定の学力もつけてやりたいと思っている。

山口 生きる力も必要だが、どう生きていくかの目的も大切ではないか。

教育長 教育は家庭教育が基本と考えるが、学校と地域社会で育てるものだと思う。

山口 その家庭教育がおざなりにされて、教育格差ができてきているのではないか。

教育長 社会の変化や経済的な影響を受け、教育格差が拡大してきていると認識している。

山口 就学援助費や就学奨励費が増えているのではないか。

教育長 急激に増大しているのではなく、少しずつ膨れあがってきていると感じている。

総合戦略プロジェクト会議について

山口 この会議の目的は何か。

市長 国の地方創生に向けた動きに呼応するためだ。

山口 国の提案の受け皿になるのか。

市長 その逆で、嬉野市の提案を国で予算づけしてもらおうものだ。

山口 国の予算のばらまきになるのではないか。

市長 そうならないように嬉野市独自の事業を考えていく。

山口 市民の意見や声をどのように取り入れていくのか。

市長 私どもが計画を立て

学

力日本一をめざす
目的は何か

答

究極的に、豊かな人間性を培う心の教育である

山口忠孝議員



▲バランスのとれた教育を

て、市民の意見を頂き協議していくと思っている。
グラウンドゴルフ場について

山口 管理や受け付け業務を協会の方と話し合い

はされたのか。

財政課長 そういう経緯

はない。グラウンドゴルフ場を含め、野外体育施設の指定管理を検討している。コースの設定や芝の長さなどについては協議させてもらった。

合宿等誘致活動 どう進める

森田明彦 議員

答 積極的にやっていきたい



森田 人口減少対策で国の新たな交付金制度を把握し、利用計画はあるか。

市長 来年3月までに国の方針が決定するので積極的にこの問題に取り組みをしていきたい。

森田 市内の小学校区ごとの人口動態調査をおこなったことはあるか。

市長 必要があれば調査を考えていく。

森田 ベースとなる事実を捉えるため虫の目で少子化を分析する事も必要ではないか。

市長 増減の原因で分析する必要があるれば全体的に取り組みをしていく。

森田 市内に約13000の事業所があるが商工振興策をどのように考えているのか伺う。

市長 私どもとしては2万8000人台に近づけるように、そういう点を踏まえながら定住人口が増えるように努力している。

森田 全課で取り組むと

言うことで縦割りの弊害を排除し、英知を結集させると理解してよいか。

市長 全課で取り組むと

言うことで縦割りの弊害を排除し、英知を結集させると理解してよいか。

市長 必要があれば調査を考えていく。

リ バティなどの予約状況を 図れ

山下芳郎 議員

答 情報発信は今後も注意していく



いている。

山下 スタートが大事である。新設になった担当は今後どう利用促進を進めていくのか。

文化・スポーツ振興課長

大学、実業団など誘致したい。重複しないよう心掛けて運営したい。

山下 隣のエイブルの会員制、サポーター制度など参考にしては如何か。

ホームページの活用で館長の時候の挨拶、講座の案内と予約状況を案内してはどうか。

文化・スポーツ振興課長

対応の仕方、音響照明など取り入れたい。

山下 情報発信を密にしたい。

ホームページの活用ができていない。観光協会との連携など担当の問題でなく情報を幹部会議などで連携し発信すべきと思う。

市長 情報発信は日頃も指導しているが、今後も注意していく。

山下 利用者が自宅にお

りながら予約状況、予約が可能な自治体クラウドが完成していないが、今

市長 順調に利用して頂



▲さらなる活用を

年度は必ず実施するか。企画政策課長 今年度に実施する。

大河ドラマの誘致を

山下 佐賀県は偉人を多く輩出している。大河ドラマ・朝ドラの誘致を積極的にこなってはどうか。

市長 佐賀県と一体となり嬉野の魅力を伝えたい。

山下 作家、放送局を招き現地を見て頂くことはどうか。

市長 効果はあると思う。特に味番組は上京時に要望する。

山下 観光協会と連携し、フィルムコミッションを

活用

設置し、情報発信してはどうか。

市長 観光協会の意見を聞き進めたい。

山下 子供が佐賀の偉人を誇りに思えるよう学校と家庭が一緒になった学習の機会ができないか。

教育長 家庭向けに第二版まで作って利用した。今後は市報、ホームページを考えている。

活用

その他の質問
※佐賀空港の今後
※大野原地区用地の活用



▲今回4回目の全柔連女子合宿

市長 地場産品の販路拡大と、六次産業化を目指した農業や観光との連携さらに市民と観光客が集う商店街の魅力創出、新幹線開業をにらみ民間と一体となった商工振興に努めていく。

森田 機構改革により「観光商工課」から「うれしの温泉観光課」に名称変更されたが商工の文字が削除された理由と今後の対応策を伺う。

市長 温泉と言う天然の恵みをシンボルとして課の名称に入れることによ

り交流人口の増加を期待している、名称は変わったが商工振興には一層の努力をしていく。



辻 私有地での処分は、法的に問題ないか。

環境下水道課長 ボラン

ティア作業での土砂は、廃棄物にならない。

辻 住宅団地など個人所有の土地が少なく処分する場所が無い地区は、今後どうする。

市長 大量に出れば、業者対応になる。

辻 のぞえ団地や第七・第八土地区画など、行政が開発した地域の土砂は、行政が処分地を確保すべきではないか。

市長 業者に処分を委託した負担は、今後検討する。

結婚支援活動について

辻 現在の活動と今後について、どうする。

市長 結婚支援のサポートを配置し、独身者の掘り起こしや、イベントをおこなっている。

×

役の土砂はどうする

答 各地域での処理が基本

辻 浩一 議員

辻 26年度の実績は。

市民協働推進課長 カップルは出来ているが、成婚には至っていない。

辻 登録受付は庁舎内でおこなっているのか。

市民協働推進課長 庁舎内でおこなっているが、多くの人と顔を合わせないでいいように別室でおこなっている。

辻 結婚支援員と言われたが、その活動内容は。

市民協働推進課長 サポーターとは別に専属の相談員を委嘱したい。

辻 受付の場所は。

市民協働推進課長 できるだけ庁舎以外を検討している。

有害鳥獣について

辻 カラスの対策はどうするのか。

農林課長 猟友会に駆除をお願いしている。

辻 地域から依頼があったら対応できるのか。



▲処分にこまる土砂

観光看板について

辻 施設が確認できるまで矢印ぐらい必要では。

嬉野温泉観光課長 状況把握と点検をおこない早急に対応したい。

辻 駆除で効果が無ければ、カラスが集まりやすい環境の改善が必要ではないか。

農林課長 環境の担当と連絡を取り駆除、防除に努めたい。



子育てセンターは土日の開設が必要ではないか

菅塚典子議員

答 現在の職員体制では厳しい

会福祉協議会や幼稚園に委託している。

菅塚 赤ちゃんひろばはどこで開催されているか。

福祉課長 保健センターで開催している。

菅塚 障がい児を抱えている家庭はどこに相談に行ったらよいか。

福祉課長 福祉課・健康福祉課で受付している。

菅塚 子どもの予防接種の相談はどこに。

健康づくり課長 健康づくり課に。

菅塚 結婚相談はどこに。

市民協働推進課長 市民協働推進課でおこなっている。

菅塚 子どもや女性の相談、妊娠・不妊、DV、障がい児、婚活、子どもの安心・安全が一括して担当できる「子ども未来課」ができないか。

市長 今回統合する福祉課で対応する。

菅塚 子育て支援センターは土・日・祭日開いている市がある。土曜日開設と時間延長はできないか。

福祉課長 休日利用の希望もあるが、現在の職員体制では厳しい。

菅塚 子育て支援の担当課はどこか。

福祉課長 福祉課の母子児童福祉グループで、嬉野庁舎では、健康福祉課でも受け付けている。

菅塚 不妊治療はどこに行けばよいか。

健康づくり課長 健康づくり課が担当している。

菅塚 子育てサークルに参加したいときは。

福祉課長 福祉課か子育て支援センターに直接申し込みもできる。

菅塚 放課後児童クラブの申込は。

福祉課長 福祉課、健康福祉課で受け付けて、社



▲赤ちゃん登校日（県内の中学校）

菅塚 中学校に「赤ちゃん登校日」を作れないか。

教育長 保健センターで実施しているので、学校内では厳しい。

市長 地域で後継者ができれば支援をしたい。

菅塚 中学校に「赤ちゃん登校日」を作れないか。

教育長 保健センターで実施しているので、学校内では厳しい。

市長 地域で後継者ができれば支援をしたい。

菅塚 鍋野和紙の後継者づくり支援できないか。

市長 地域内で後継者を作りたい。

菅塚 空き家を提供し和紙で生活ができる支援と

有形無形の文化財保護と継承が必要だが

和紙を県下の学校に販売するトップセールスを市長にお願いしたいが。

和紙を県下の学校に販売するトップセールスを市長にお願いしたいが。

和紙を県下の学校に販売するトップセールスを市長にお願いしたいが。

人口減少に対する取り組みは

梶原睦也 議員

答 今後とも福祉・教育施策を継続する



する見解は。

市長 データ的には仕方がない数字ではあるが、将来的には嬉野市が残っているよう努力しなければならぬ。

梶原 具体的施策は。

市長 全体的な人口確保のためにこの10年間、福祉や教育に相当力を入れてきた。今後ともこれらを継続する。

梶原 転入対策も必要であるが、現在、嬉野市に居住している市民が継続して住んでいただくためにも思い切った施策が必要だ。子育て対策として保育料・学童保育・給食費の無料化または軽減などは考えられないか。

市長 保育料は国の徴収基準より安く設定している。来年からの新基準においても基準額より低く設定する。学童保育料についても他自治体より安く設定している。給食費については、自己負担を軽減している自治体もある。今後研究する。

梶原 現状では、田舎で子どもを育て大人になったら都会に出している。

梶原 日本創成会議は本年5月に全国1800自治体のうち896自治体を消滅可能都市とした。残念ながら本市もその対象となったがそれに対

対象となったがそれに対

対象となったがそれに対



急な大雨を考えた「土のう」の備蓄を

田中政司議員

答 時間的な課題であるが土を入れこむのが原則

田中 本年も7月初めの大雨により、市内数十カ所において災害が発生した。

災害を最小限にとどめるためには、「土のう」の活用が有効手段の一つと考えられるが市の対応は。

市長 現在「土のう」の袋を1万5000袋備蓄している。また袋に詰め



▲急な大雨に是非必要

塩田の建設業組合と協定

を締結し、水害などの発生が予想される場合は、協定先に連絡を取り土の確保をおこなっている。

田中 袋に土を詰めた「土のう」を、災害が発生しそうなのですぐに100個ほど欲しいという時に対応できるのか。

総務課長 あらかじめ作っているわけではないので、急に準備はできない

いかと思う。

田中 大雨が降っている中で土を土のう袋に入れる作業も大変である、備蓄をするべきと考えるが。

市長 時間的な課題と考える。消防団も協力いただけれると思うので、土を入れ込むのが「土のう」の場合は原則だろうと考

田中 嬉野地区の場合、消防団の格納庫は手狭である、市で倉庫などを確保し備蓄するべきだ。

総務課長 そういったことが可能かどうか各消防団と相談し、土を入れた「土のう」が何年ぐらい有効なのか確認をしたい。

下野地区の茶園農道整備について

田中 平成19年ごろに嬉野の茶業振興計画で上がっていたが現在の状況はどうなっているのか。

また、新幹線の嬉野温泉駅が完成すれば、駅舎や新幹線の中から一番よく見える茶園なので、荒廃茶園とならないよう行政が乗り出すべきだ。

市長 以前に話があり、地元の方とJAなどの協議があっていたが、最終的な詰めができていなかったと理解している。これから地権者などの皆さん方と協議をしながら、どういう形で農道を仕上げていくのか、話し合いをさせていただきたい。

市長 進学・就職に関し嬉野市から通える範囲で頑張っていただけの方に支援をするといったことにも努力する。

教育長 高校卒業後の進学補助については、26年度から30年度にかけて教育創新プランを立ち上げるなかで嬉野市に住んでいただけのような施策を検討している。来年4月に教育基本計画の構想の中で打ち出す。



▲住みつづけられる嬉野へ

新庁舎について

高校卒業後、地元に残ることを条件とした就学支援や就職支援を積極的におこない地元に残っていただくような施策が必要ではないか。

梶原 分庁方式で業務を遂行しているが課題山積である。合併特例債の期限も迫っており、新庁舎建設を考える時期に来ているのではないかと考

市長 今後の国の動きを注視し慎重に判断する。

注視し慎重に判断する。

嬉

野川棚線を トンネルで川棚へ

川内聖二 議員

答 今のところ難しい。



にアクセスができ沿線の農村地域の活性化にもなるのではないかと。

市長 道路の重要性に対する見込みが課題になってくるので、今のところ難しく、先方の情報を十分に調査しながら動いていく必要がある。

川内 8年後には、九州新幹線ルートが開通するが、県道嬉野川棚線を川棚町に開通させる構想に取り組むことは出来ないか。

市長 具体的な計画はないと土木事務所より伺っている。しかし、非常に重要な道路と考え県境まで道路を開通させている。

川内 林道ではなくトンネルで開通は出来ないか。
市長 時間と費用が掛かるので県境まで道路を整備した。

川内 トンネルを開通すれば近隣の企業へ広域的

嬉野温泉本通りの景観について

川内 本通りを見ると、電線が上空を覆って景観を壊しているが、どのように思うか。

市長 非常に電線が多いので以前、業者に若干の整備をお願いした。
川内 改めて検討はしないか。

建設・新幹線課長 市民の皆様方に浸透した暁には、できるだけ重点地区において検討をおこない、

市 立図書館における休館日の検討を

増田朝子 議員

答 検討する



増田 読書週間であるにも関わらず、10月20日から31日まで嬉野・塩田両図書館が休館の理由は、

教育部長 本年度事業である図書館システムの更新



▲市民が利用しやすい図書館へ

新を含め、この期間に蔵書点検などを合わせてしまい休館になった。

増田 嬉野市立図書館条例施行規則では、子どもの日・文化の日は開館とあるが、嬉野図書館では文化の日が休みだったかなぜか。

教育部長 当日は嬉野庁舎の電気保安の目的で庁舎全体が停電するため休館という措置をとった。

増田 今年度の蔵書点検では両図書館が同時休館日だったが、変更することはできるか。

教育部長 来年度からは読書週を外し、同時休館のないように検討するよ

う指示する。

湯けむり広場について

増田 設置までの経緯は。 **市長** 国道の交差点による交通事故防止対策、温泉源の利用、観光協会からの強い要望で設置した。

増田 平成23年9月20日設立、総工費約2500万円、年間の維持費300万円を必要とし、評判もよくないが、この施設の維持を続ける価値があると思うか。

市長 意見は以前から聞いていたが、観光施設の一つとして判断いただきたい。

嬉茶楽館について

増田 施設の目的は。 **うれしの茶振興課長** 栽培技術や加工技術の研修のための施設。

増田 市民が利用できるのか。

うれしの茶振興課長 指定管理者の自主事業として、手もみ、茶摘み体験、茶染め体験、おいしいお茶の入れ方教室などをおこなっている。

増田 市民への周知、交流はどうか。

産業振興部長 お茶の研修をする場で専門家たちの集まる場、研修をする場と考えている。

その他の質問
※観光について
※人口減対策について

地元の皆様と協議し整備を進めていければと思う。

駅周辺区画整理事業について

川内 今回、医療センターが移転するが、駅と医療センターが連携した構想はないか。

市長 嬉野医療センターとは締結していて、駅から病院へ雨に濡れずに来訪者が不便を来さないように計画をおこなう。また、鳥栖のハイマツトと医療関係の締結を結んでいくと思う。

川内 嬉野温泉駅を拠点として近隣の市町村と広

域連携をした振興策を協議されているか。

市長 バスプールを用意し近隣の市町村と連携をとる。

川内 市民の皆様は、これからの駅周辺の構想を知らせてほしいが。

市長 市民の方には、積極的にお知らせしていきたい。



▲トンネルでアクセス



26年産米概算金に上乗せ助成
出来ないか
答 米だけには厳しい。

西村信夫議員

西村 佐賀県平成26年産米の概算金が60^キ当たり28000円で昨年より2000円下落し過去に例のない低水準に落ちた。米の価格は全農県本部、経済連が決定するが概算金の積算基準を示せ。

市長 概算金は米の販売価格から保管料、運賃など流通経費を差し引いて設定し、作柄の動向や需要環境を見据えた上で単価設定をおこなう。

西村 佐賀は平成25年産と比較して2000円下落したが、要因を示せ。

農林課長 日照不足、作況指数92などの影響で下落したと考えられる。

西村 平成26年産から米の交付金も半減、概算金の下落などで平成25年産と比較して収入減少率を示せ。

市長 平成26年産は10a

当たり収量は7俵。米の交付金10a7500円。米代金1俵当たり8000円、合計本年度は6万3500円で前年比15.3%マイナスである。

西村 平成26年産米の下落で他市町は概算金に上乗せ助成が相次いでいるが嬉野市も考えられないか。

市長 米だけに制度を適用すると厳しい面がある。

西村 平成26年産米の下落で他市町は概算金に上乗せ助成が相次いでいるが嬉野市も考えられないか。

市長 米だけに制度を適用すると厳しい面がある。

西村 要支援1・2の訪問介護と通所介護は予防給付の対象から除外されるが本市の対応を伺う。

市長 改正後は訪問介護、通所介護サービスは市町保険者事業の地域支援事業に移行される。

西村 特別養護老人ホーム入所対象者についてどうなるか。

市長 原則要介護3以上になる。要介護1・2の方も一定の要件満たせば入所可能になる。

西村 介護利用者負担が単身で収入280万円以上、夫婦で359万円以上は2割になる。特別養護老人ホーム入所の場合、単身で1000万円超、夫婦で2000万円超の資産がある場合入所は打



▲下落いちじるしい米価

市長 原則要介護3以上になる。要介護1・2の方も一定の要件満たせば入所可能になる。

西村 介護利用者負担が単身で収入280万円以上、夫婦で359万円以上は2割になる。特別養護老人ホーム入所の場合、単身で1000万円超、夫婦で2000万円超の資産がある場合入所は打

ち切りになるがどうか。
健康保険福祉課長 利用者2割負担は平成27年8月からとなる。特別養護老人ホーム入所者で住民税の非課税世帯の入所者は補足給付が対象から外れる。



イベントの情報発信について

宮崎良平 議員

答 今後しっかりと横の連携を図っていく

宮崎 市内各地のイベント情報発信の現況および、今後について伺う。

市長 現在、嬉野市における情報発信手段として、「防災行政無線」「市報うれしの」「嬉野市ホームページ」「行政放送うれしのホットステーション」行政嘱託員による「全戸配布または回覧板」と

5つの発信手段があります。

今後も様々な情報発信媒体を通じて、市内はもとより市外の方にも関心を持っていただけるよう情報発信に努めていきます。

宮崎 インターネット上で「嬉野市」と検索すると、一番上にアップされるの



▲ホームページの有効利用で更なる活性化を

が嬉野市観光協会か、嬉野市のホームページである。ホームページを開くと、イベント・催しに関しましては年間十数件と、観光立市を発信するに足るはあまりにもお粗末な気がする。

そこで、まずは行政と観光協会の連携をしっかり取り、年間のイベントを総洗いしてホームページにわかりやすく掲載すべきだと思うが。

市長 今までも一生懸命取り組んできたが、やはり横の連携がうまくできていないという結論だと思ふ。

今後十分連携を取り合い市民の方が理解しやすいよう努力していく。

宮崎 関連して各地域の伝統行事などにおいて、少子高齢化が要因で賑わいが見られなくなったという声を聞く。

各コミュニティとより綿密な連携をとり伝統行事なども立派な観光資源として活用し、観光誘致と地域の活性化という一石二鳥の取り組みを目指すべきではないか。

市長 県内外同じ問題を抱えている。

いわゆる集落の形成が大きくなってきている。嬉野市の場合集落を超えた地域コミュニティが活性化しているが、もつときめ細やかな事業をしていただくよう協議していきたい。

企画政策課長 各地域コミュニティと今後しっかりと充実をはかっていきたい。

嬉野市の観光ビジョンについて

生田健児 議員

答 活力ある観光地づくりを推進していきたい



生田 嬉野市において具体的な観光ビジョンが見えてこないように思う。現在及び将来へ向けたビジョンについてどう考えているのか。

市長 もてなしの心で結ぶ交流のまち」を基本理念として活力ある観光地づくりを推進していきたい。

生田 具体的な進むべき方向については。

市長 観光資源を点から面に広げるため、回遊性のある観光まちづくりを促進していきたい。

生田 以前、嬉野市観光振興計画を策定するという予算が計上されていたが。

産業振興部長 観光振興計画は、まだ策定していない。後期総合計画の中で計画を持っている。

生田 市は策定計画に200万円の予算をつけているが無駄金だったのか。

市長 総合計画の中で処理していった。

生田 観光振興計画が立ち消えになるまでの流れは。

産業振興部長 策定していないと答えたが、概要書的なものはある。

生田 公表しているのか。

産業振興部長 公表していない。

生田 市からやる気が見

職員のコンプライアンス (法令遵守) 条例制定を

山口 要議員

答 早急に対応をはかりたい



山口 唐津市において、工事の不正入札ということで職員が逮捕された。これを受け、本市ではどのような対応をしたか。

市長 部課長会で、

良識ある行動をすること
を指示した。また、特に
指示をしたのは、公益通
報制度（疑念を持つ職員
は、現場の上司を通さな
くても直接情報提供がで
きる制度）の活用である。
山口 その制度は、規則
のどこを探しても見当た
らないが、どこに載って
いるのか。

総務課長 嬉野市におい
ては、要綱の整備まで
至っていないので、早急に
整備をしていく。

山口 職員の遵守体制と
いうことで見れば、総社
市において、コンプライ
アンス（法令遵守）条例
が制定されている。本市
でも検討してはどうか。

総務部長 早急に対応を
はかっている。

教育委員の増員は

山口 本年の6月議会で
も取り上げた教育委員の
増員については、その後
どう対応したか。

市長 増員については必
要と思っているが、時期
については慎重にやって
いきたいと思っている。

山口 教育長はどのよう



▲入札風景

に考えているのか。

教育長 来年4月から新
しい教育委員会制度がス
タートするが、その中で
現任者の任期満了という
移行措置がある。それで
現任者の任期が終る時期
が手ごろと考える。

山口 現教育委員の任期
満了と言うことになる
あと約3年ぐらいある。

その後、増員というこ
とで受けとめていいか。

市長 任期ぎりぎりでは
ないが、新教育制度の変
更に伴う検討も含めて、
それぐらいの時間が必要
であると考えている。

河川環境整備を

山口 塩田川の河川の汚
れと、遊歩道に土砂が乗
り上げていることについ
て把握はしているか。

建設・新幹線課長 把握
をし、県の土木事務所
にもお願いをしている。

山口 乗り上げてから、
かなりの期間になってい
る。もっと強く要望がで
きないのか。

建設・新幹線課長 指摘
を受けたので、引き続き
要望をしていきたい。



▲示せ観光ビジョン

えてこない。
市長 それぞれの関係の
ところと協働し頑張っ
ていると思う。

生田 吉田地区の観光に
ついてはどう考えている
のか。

市長 産業の活性化が柱
になってくる。いろんな
ところで吉田焼のキャン
ペーンをしていただいて
いる。

生田 納戸料の百年桜の
トイレ設置については。

うれしの温泉観光課長
協議をしているところで
ある。

市役所職員の市民への 対応について

生田 市役所で挨拶して
も職員が返事をしないな
ど市民から聞かれるが。

市長 できるかぎり指導
する。

生田 パソコンに不慣れ
な市民へのフォローは。

市長 市民課の方で話を
していただけたら担当の
方で直接聞く。

委員会レポート

学力向上への取り組み及び 伝統的建造物群の在り方について

文教厚生常任委員会

目的

全国学力・学習状況調査で毎年トップクラスにある秋田県の学力向上の取り組みについて、秋田市において調査をおこない、また国内で最初に伝統的建造物群地域に指定された仙北市（角館）において今後の嬉野市の整備の進め方の参考のため調査をおこなった。

委員会の意見

秋田市では教育の柱と位置付けられている「小中一貫した考えに立った」教育が展開されていた。

全国学力・学習状況調査の結果公表については否定されていた。わずかのポイントの差を公表して序列化をおおるよりも、調査結果をよく把握し、今後の子供の教育に生か

していくことが大事であるとのことで同感し、全国トップを走り続ける秋田市の自信を見た思いがした。

委員会の意見

角館地区伝建地区の調査
昭和51年に国内最初の指定を受け現在50年経過しており、整備は進んでいる状況にあるが、保存事業は文化財保護の観点からみれば終わることがない。国内において108箇所が指定を受け整備が進められており今後は国の支援も取りにくい状況が考えられる。地区内

の家屋の状況調査や台帳の整備も含め優先順位を決め計画的に対応していくべきである。

今後とも整備に当たっては、地区内に居住される方や市民のコンセンサスを得ていく必要がある、伝建の意義について市民に対して啓蒙・発信していくことが大事と考え



▲永石地区の建設計画予定地

市内の砂防ダムについて

産業建設常任委員会

目的

近年全国的に大雨や集中豪雨による土石流災害が発生しており、市内においても今年7月の大雨により、急傾斜地や農地道路の崩壊が発生した事を受け、今回事務所からの現状についての現地

調査をおこなった。

委員会の意見

急傾斜地や地滑り地帯、農林地崩壊防止などの要望は多いが、砂防ダム建設の実行については、通常目につかない場所が多いためほとんど地元からの要望でなく行政主導の計画である。

採択については地元との理解と協力が必要であり、砂防ダムの必要性や公共性を日ごろから十分周知することが重要である。

今後豪雨の発生が増大することが予想される、砂防ダムは土石流災害を防止し生命、財産、インフラを守るために有効な手立てであり積極的に推進すべく施策の一つと考



▲秋田市の研修風景

農業の持続的発展等に向けた農政重要課題に関する意見書

(本文要旨) 本市農業は、これまで農畜産物の生産振興と国民への安全・安心な農畜産物の安定供給に努めているが、

昨今、こうした取り組みを脅かす農政上の重要課題が多数存在している。

本市の基幹産業である農業の持続的発展と豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けて、本市議会は国会及び政府に対し、下記の事項を強く要望す

る。

1、TPP交渉

TPPの交渉分野は、農業生産はもとより、国民生活を一変させる危険があるにもかかわらず、秘密保持契約を根拠に交渉内容に関する情報開示をおこなっていない。将来に禍根を残さないためにも国会決議の実現に向け、不退転の決意をもって粘り強く交渉すること。

2、水田農業政策

①26年産米価格下落に伴い、当面の資金繰り対策を講じること。

②米は国民の主食であり、食糧法の趣旨に沿って、現行の政策の見直しや米価下落が与える影響を十分検証し、所得を確保しうる中長期的な施策を早急に講じること。

3、農協改革

①本市の農業振興と地域振興に寄与するために、JA組織において営農経

市民の声を 議会へ

地球建設決議に関する陳情書

陳情者

横浜市

荒木 實

集団的自衛権の行使容認などに関する要望書

陳情者

戦争をさせない佐賀県1000人委員会 代表

大草 秀幸

大草野校区運動広場の設置についての要望書

陳情者

大草野地区地域コミュニティ運営協議会 会長

川原 高文
他14名

市補助金に関する要望書

陳情者

鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校 校長

下河辺和人

人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める要望書

陳情者

在日本大韓国民団佐賀県地方本部 団長

鄭 清俊

嬉野小学校グラウンドのバックネット建設について

陳情者

嬉野少年野球クラブ 後援会会長

小田 昭徳
他5名

国へ意見書を提出

固定資産評価審査 委員会委員の選任に 同意

新しく固定資産評価審査委員になられる方

尾形 民生氏

塩田町大字久間

北川 正大氏

嬉野町大字下宿

一ノ瀬 真氏

嬉野町大字下野

川原 律子氏

塩田町大字大草野

固定資産評価審査委員会とは

固定資産課税台帳に登録された「価格」に不服がある場合は、地方税法の規定により、固定資産評価審査委員会に審査の申し出をおこなうことができます。

固定資産評価審査委員会は、独立した第三者的な立場で、市長が決定した固定資産の価格が総務省の示している固定資産評価基準に基づき、適正に決定されているかどうか審査する機関です。

今回、4名の委員の任期が平成27年2月16日に任期満了となるため、12月議会において委員選任の議案が提出され全会一致で同意しました。

議会交際費支出状況

(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(単位：円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	2	21,600
御祝	1	70,000
会費	2	6,000
その他	1	12,424
計	6	110,024

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費等
- ・その他の内訳 行政視察手土産

宿泊客増にも貢献

嬉野市議会においては、議会活性化特別委員会と議会広報編集特別委員会において、議会改革ならびに開かれた議会を旨指して議会活動に取り組んでいます。

日経グローバルの議会改革度調査において、平成22年度9位、24年度3位、25年度9位と3回連続で全国トップテン入りを果たしました。

視察も全国的になっており、宿泊を伴うことを条件に受け入れています。

26年度の視察対応実績

4月	1件	8人
7月	6件	73人
8月	2件	17人
10月	7件	70人
11月	4件	36人
1月	1件	8人
合計	21件	195人